

令和5年伊豆市議会3月定例会 施政方針

令和5年2月22日

伊豆市長 菊地 豊

令和5年伊豆市議会3月定例会に際し、施政方針を申し上げます。

今年の施政方針は、敢えて昨年と全く同じにしました。文書にて配布いたしますが、この場では「なぜ同じにしたのか」をご説明します。

伊豆市は、3年前に生じた新型コロナウイルス感染症のパンデミック、1年延期された東京2020大会など誰一人経験したことのない事象に翻弄されつつも、新ごみ焼却施設、新中学校及び（仮称）日向公園の整備を中核とする新市建設事業を着実に進めてまいりました。市民から負託された行政としての責務を果たすことは宿命ではありますが、この間、職員には大きな負担を強いてきました。心身ともに疲弊している職員が決して少なくありません。特に心理的負荷を軽減するためには、困難な事業をひとつひとつ完了させていくことが肝要と考えます。

総合計画を戦略的に作成している伊豆市において、これを具現する年度事業を着実に進めること、そして、それによって職員の充実感を高揚させることが、現時点では市長として最も大切な視点であると判断します。決して、伊豆市行政が停滞しているわけではありません。敢えて、2年続けて同じ施政方針を継続する真意をお汲み取りいただき、議会におかれましても行政推進にさらなるご理解を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。